

月刊

～会員と事務局をつなぐハートフル通信～

コミュニケーション

9月号

Communication

Vol.4

長かった酷暑も過ぎ去り、早朝には肌寒さを感じる季節になりました。急激な気温の変化だけでなく地震や非常に強力な台風といった大規模な災害が集中した今日この頃、季節の変わり目です。皆さんも体調に十分お気を付けください。



近頃シルバー内で就業中の事故が以前にも増して多発しています。長年就業している方ほど自分の作業に自信を持ちやすく、「この程度で事故がこるわけがない」と考えがちなのが一つの原因となっています。また、誰しも年々歳を重ね、自分でも気づかない程度の体力、反射神経の低下によっておこる事故もあります。事故対策の1つとして、作業前に事故がおこる可能性のある場所を全員で話し合い、お互いに不注意な点を注意し合うことも効果があります。また、すでに起きてしまった事故に対して、おこした会員のみ責任と考えるのではなく、全体責任だということを皆さんが理解することが最も大切なことであると考えられます。

シルバー直売会

10月15日(月)「生きがいセンター太陽の家」にて第4回直売会が、また10月20(土)21日(日)には「名古屋刑務所」にて矯正展が行われます。パンジー、ピオラといった秋の花や焼き芋、木工製品などを販売する予定です。

ぜひお誘いあわせの上、お立ち寄りください。

直売会： 9:00～15:30

矯正展：20日 10:00～16:00

21日 9:00～15:00



急募

現在、清掃作業の女性、部品検査、加工を行う派遣作業の会員を多数募集しています。

皆さんのお友達で働く意欲のある方がいる場合、ぜひシルバー人材センターに誘ってください。

防災グッズ



近年、熊本地震、大阪府北部地震、北海道胆振東部地震、西日本豪雨、非常に強烈な台風21号といった災害が以前では考えられないペースで日本を襲っています。

大規模な災害時にライフラインが止まった場合、公的な支援が行き渡るまでに以下のものが必要と思われます。

この機会に災害時に持ち出すセットを作ってみてはいかがでしょうか。



■飲料水

1人1日3リットルを目安に、最低でも3日分は用意

■食糧

火を使わなくとも食べられ、長期間の保存も効く食品（レトルト食品、インスタント食品、クラッカーなど）が理想的

■医療品

常備薬、三角巾、包帯、ガーゼ、絆創膏、ハサミ、消毒薬などを用意しておくが良い。

■衣類

重ね着できる衣類、防寒具、使い捨てカイロ、毛布など

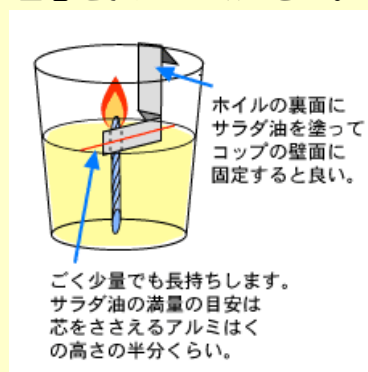
■停電時用

停電時に備え、懐中電灯、ろうそく、マッチ、携帯ラジオ、予備の電池

まめ知識

停電時、懐中電灯では一点しか照らすことができず、生活するには頼りないです。そんな時に身の回りの物を使って作ることができる照明を2つ紹介したいと思います。

- ① 懐中電灯に水の入ったペットボトルを置くことで周囲を照らすことができます。
- ② ねじったティッシュをアルミホイルで巻いて支え、それを芯とし、芯の半分程度のサラダ油を注げば簡易ろうそくの完成です。※サラダ油なので比較的安全ですが、こぼれないように安定した容器を使用するなど細心の注意を払ってください。



編集後記

酷暑が過ぎ、これからどんどん気温が下がっていきます。

夏の疲労を感じる今だからこそ自身の体調に気を付け、健康管理に努めていきましょう。〔原田〕